

コンサルタントの現場から

第125回

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

借金は成長のためにするもの

お金の流れは血液と同じだ。

事業の基本は？

以前から、このコラムでは、立ち上げ失敗による資金ショートをはじめ、「お金」にまつわる話しを紹介してきた。実際に、事業展開をしているとお金が回らないという事態に陥ることがある。そうなる場合、何らかの資金手当てをしないと企業は倒産することになる。お金は人間でいえば血液と同じであり、お金が無くなれば命が尽きるのも人も企業

と同じだ。ところで、事業は株主からの出資金と共に金融機関等から借入をし、その資金を事業に必要な資産に換え、その資産を使って新たなお金を生み出すということだ。どこからお金を調達し、それを事業のためにどのよう使ったかを示すのが貸借対照表であり、その資産を使ってどれだけ利益を出したかを示すのが損益計算書ということになる。また、これらの活動で肝心のお金がどうなったかを示すのがキャッシュフロー計算書だ。事業の基本は出資金や借入金を使って新たなお金を生み出し、それによって配当やさらなる成長発展に向けての原資を生み出すことで企業価値を高める。株主はそれを期待して出資するのであり、金融機関もお金を貸し付けることでその企業が成長し、金利の支払いや返済ができるかと判断しているからこそ貸し付けるのだ。すなわち、新たなお金の生み出しができるか否かが事業を進める上で最も重要であり、事業を続けられ続けるほどお金の減っていくという事業には、誰もが出資には躊躇するし容易に融資はしない。出資や融資したお金が無くなるだけだからだ。

借金をする目的は？

ところで、借金をする目的は何であろうか。それはさらなる発展に向けて、運転資金を含めて必要な資産を取得するためということだけでなく、ばならない。そこには、このように事業を拡大していきたいという思いがあるはずだ。新たな事業を始める場合も、このように事業展開することによってこれだけの新たなお金の生み出し計画があるはずだ。それを見て金融機関も融資する。すなわち、借金はさらなる発展のためにするということだ。

現実には多いのは当面の資金繰り？

ところが、現実を見てみるとそうなっていないケースの方が多い。冒頭申し上げた立ち上げ失敗で資金ショートというように、明らかに事業推進に失敗したことで資金が回らなくなり、企業を潰さないうちに何とか当面の資金繰りを確保するために借金をするというケースだ。

返済計画の大切さ

また、経営再建計画を見せたいだけでなく、実は中小企業より大手企業の方がいい加減だったり、きちんとできていないことが多い。中小企業は金融機関に融資をお願いしたり、返済を猶予してもらったためにそれなりの計画を出さなくてはならないが、大手企業の場合、親会社に融資を依頼することで当面の資金を確保できることが多いが、中小

企業の場合はそのようにできないため金融機関に依頼せざるを得ない。金融機関も今まで貸出している資金の回収というところもある。経営再建計画の内容についての確認や指導をして何とかその企業が潰れないような支援してくれるが、これは本来の借金の目的ではない。借入は事業が行き詰って資金繰りが回らなくなったためにするというのではなく、成長のために、また、さらなるキャッシュを生み出すためにするということが基本ということだ。借金をしているがその金を真にうまく使ってお金が生み出せているかという視点も含めて、借金をすることの目的を今一度確認しておくことも大切ではないだろうか。

<執筆者プロフィール>

高橋 功吉
(たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営
常務理事 グローバル事業担当



大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

中小企業向け人事・組織管理勉強会 (@サムットプラカーン)

中小企業支援委員会(松永晃一郎委員長 / タイ矢崎コーポレーション)は、第7回日系中小企業向け税務勉強会および懇親会を下記の通り開催する。申込みはJCC事務局 ☎02-250-0700-3、shibata@jcc.or.th (担当・柴田)まで。(JCC非会員の参加も可)

<勉強会&夕食懇親会>

日時: 2017年10月31日(火) 14:00~19:00 (受付13:30~)

場所: ル・メリディアン・スワンナプーム・ホテル

テーマ: 「経営者が知っておくべき人事・組織管理の基本」

ここが違う。日本とタイの労務管理実務

~タイ人と日本人の仕事観を踏まえて~

講師: マーサー・タイランド社 コンサルタント 仲島基樹氏

参加費: 無料

10% ディスカウント フード&飲み物



The SALIL HOTEL

Sukhumvit 57 - Thonglor

Concept Living Space

衣食住。快適生活を皆様に

週末だけのホテルステイから、長期のご滞在まで、
全ての宿泊客の皆様に、快適な生活空間を提供します。



24 Soi Sukhumvit 57 (Baan Kluy Nua),
Klong Ton Nua, Wattana, Bangkok 10110

Tel : +66 (0) 2 072 2882-4 | Fax : +66 (0) 2 072 2885

✉ info@thesalilhotel.com 🌐 www.thesalilhotel.com 📍 The Salil Hotel